

報道関係各位

令和 7 年 6 月 19 日
北九州市都市ブランド創造局
北九州市上下水道局

メジャーリーグベースボールは、
北九州市でオリジナルマンホールキャンペーンの一環として、
今永昇太選手(シカゴ・カブス所属)を称えます！

～MLB 主導の地域連動のプロジェクト～

北九州市では、メジャーリーグベースボール(以下 MLB)と協力し、地元出身であり、
米国 MLB で活躍する今永昇太選手のオリジナルデザインのマンホールを、6 月 19 日(木)に
北九州市八幡西区の瀬板の森公園(今永選手のゆかりの地)南側入口に設置しました。

本プロジェクトは、第一線で活躍する日本人 MLB12 選手をデザインしたマンホールを
各選手ゆかりの地に設置し、選手を応援すると共に、日本各地を野球で盛り上げていく MLB 主導
の地域連動のプロジェクトの一環として、北九州市と MLB の協力により実現しました。



■本プロジェクトに関して

MLB が主導するプロジェクトであり、
日本の独自のマンホール文化に着目した地域運動のプロジェクトです。

多くの日本人 MLB 選手の活躍により日本の野球界はこれまで以上に注目され、その波はさらに大きくなっています。各選手の故郷やここまでに至るストーリーに焦点を当て、称えたいという想いで、本プロジェクトはスタートしました。

MLB は、日本の色彩豊かなマンホールの文化に触れながら、彼らの故郷であり MLB という世界、ヒーローの道を歩み始めた場所で、彼らを祝福し、更には日本人 MLB 選手を育てたその地域を盛り上げ、日本全体を元気にしていくことを目指していきます。

■設置場所

瀬板の森公園南側入口(八幡西区大字則松)



選定理由:高校時代は無名だった今永選手が、自身の弱点を克服するために母校の福岡県立北筑高校に面した瀬板の森公園でのランニングを徹底し、ひたむきに努力を続けました。彼の野球選手としての礎を築いたこの公園は、今でも市民の憩いの場やランニングコースになっています。

■マンホールデザインについて



デザインポイント

- ・「投げる哲学者」にちなんだソクラテスのポーズ
- ・野球のボールを軸とした惑星達



粉川理沙（こがわ りさ）氏：三重県生まれ、カリフォルニア西海岸・小田急線育ち。アートセンターカレッジオブデザイン、イラストレーション科卒業。現在ロサンゼルスを拠点にイラスト・デザイン、主にエンタメ業界の通訳・翻訳、日米文化コンサルなど幅広く活動中。

粉川理沙さんコメント：この度は、個人的にもご縁の深い北九州市の選手を担当させていただき、大変光栄でした。「投げる哲学者」という一見スポーツと相反するようなコンセプトを、どうビジュアルに落とし込むか、そのギャップを楽しみながら、試行錯誤を重ねました。最終的には、自分自身にとっても新しい視点を得られる、非常に刺激的なプロジェクトとなりました。Thank you !

■設置場所では体験できない、今永選手の軌跡をたどるオリジナル AR コンテンツ

マンホール設置場所では、マンホール自体にスマートフォンをかざすことで、今永選手がこれまで歩んできた「ストーリー」を臨場感あふれるアニメーションで楽しめる AR ムービーコンテンツの視聴が可能です。特設ページでは今永選手のこれまでの軌跡を読み物として楽しめるコンテンツが公開されており、さらに詳しい今永選手のここまでのストーリーを知ることができます。



特設ページ: <https://www.mlb.com/ja/player-manholes>

■マンホールステッカーを先着 3,000 名にプレゼント!(北九州市独自企画)

北九州市のスポーツ大使でもある今永選手のマンホール設置を記念して、マンホールステッカーを配布します!

配布場所: 八幡西区役所5階総務企画課窓口(開庁日の9:00~17:00)
JR 小倉駅観光案内所(営業時間9:00~19:00)
北九州空港観光案内所(営業時間9:00~18:00)



配布期間: 令和 7 年 6 月 20 日(金)~なくなり次第終了

配布条件: 瀬板の森公園で、マンホールの写真(スマートフォン、カメラなど)を撮影し、
配布場所の担当に提示してください。(期間中お 1 人様 1 枚のみの配布です)

お問い合わせ先

<総括担当>

都市ブランド創造局 スポーツ振興課

TEL:093-582-2395/FAX:093-582-2677

担当: 森本(課長)・牛尾(係長)

<マンホール蓋設置について>

上下水道局 下水道保全課

TEL:093-582-2426/FAX:093-582-2533

担当: 松本(課長)・村田(係長)

報道関係各位

2025 年 6 月 11 日
Major League Baseball

MLB、日本全国に設置された 12 のオリジナルマンホールカバーを通じて、リーグで活躍する日本人選手たちを祝福

6 月 16 日（月）より順次設置開始

メジャーリーグ ベースボール（MLB）は、リーグで活躍する日本人選手 12 名を讃えるオリジナルデザインのマンホールカバーを、各選手の野球のルーツにまつわる場所に設置します（6 月 16 日（月）より順次開始）。この 12 種類のマンホールカバーは、それぞれ異なるアーティストによってデザインされ、選手一人ひとりのキャリアの「物語」や個性が表現されています。

各マンホールカバーには AR コンテンツが搭載されており、現地にマンホールカバーをスマートフォンでスキャンすることで AR ショートムービーを楽しむことができます。

さらに、MLB と JAL のコラボレーションで、オリジナルマンホールに訪れた方々の体験をさらに豪華にする特別企画を実施します。特別企画に関する詳しい情報はマンホールの設置と合わせて、6 月 16 日(月)に発表します。

ぜひ彼らが歩んできた現在に至るまでの「物語」を、ゆかりの地を通してお楽しみください。そして、世界を舞台に活躍している日本人 MLB 選手たちの一挙手一投足にこれからもご注目ください。



Official Licensee of MLB PLAYERS, INC.

6月16日（月）より岩手県から設置開始！

奥州市出身の大谷翔平選手、盛岡市出身の菊池雄星選手、陸前高田市出身の佐々木朗希選手の設置を皮切りに、岩手県以降は各選手所属の MLB の試合に合わせて設置していきます。詳しい設置場所の情報は順次 MLB 日本公式 Instagram（@mlbjapan）より発信していきます。



マンホール設置情報

- ・ 6月16日（月） 大谷翔平選手 岩手県奥州市
- ・ 6月16日（月） 菊池雄星選手 岩手県盛岡市
- ・ 6月16日（月） 佐々木朗希選手 岩手県陸前高田市
- ・ 6月17日（火） ダルビッシュ有選手 大阪府羽曳野市
- ・ 6月18日（水） 松井裕樹選手 神奈川県川崎市
- ・ 6月19日（木） 今永昇太選手 福岡県北九州市
- ・ 6月23日（月） ラーズ・ヌートバー選手 埼玉県東松山市
- ・ 6月24日（火） 鈴木誠也選手 東京都荒川区
- ・ 6月25日（水） 山本由伸選手 岡山県備前市
- ・ 6月26日（木） 吉田正尚選手 福井県福井市
- ・ 6月27日（金） 千賀晃大選手 愛知県蒲郡市
- ・ 6月29日（日） 菅野智之選手 神奈川県相模原市

本キャンペーンの開始と合わせて、オリジナルマンホールの製造工程に焦点を当てたメイキング動画をリリースしました。メイキング動画は下記リンクよりご覧できます：

<https://simian.me/5m8bq>

本企画について



Official Licensee of MLB PLAYERS, INC.

メジャーリーグ ベースボール (MLB) は、リーグでますます活躍の場を広げている日本人選手たちを、母国や故郷の「ヒーロー」として讃えます。今回のキャンペーンでは、現役の日本人選手 12 名の感動的なストーリーを、日本独自の文化である「マンホール」というユニークなプラットフォームを通じて発信します。そのために MLB は、各選手の地元と緊密に連携し、彼らが世界の舞台である MLB に至るまでの“ヒーローズ・ジャーニー”を丁寧に辿りました



Official Licensee of MLB PLAYERS, INC.



■オリジナルマンホールカバーについて

選手ごとに12人のアーティストがそれぞれデザインを担当しています。



・大谷翔平選手

アーティストコメント:

大谷選手のまるで「野球漫画の主人公」を地で行くような人生・人間性・存在感を表現する、ということを主眼に、王道かつ力強い印象を目指し、日本の漫画の技法を取り入れて制作しました。

アーティスト: 小鈴キリカ

1995年茨城県出身。イラスト・まんが・キャラクターデザインを手がける。『ILLUSTRATION 2020』(翔泳社)、『ニューレトロイラストレーション』(パイインターナショナル)掲載。直近の実績として、TVアニメ『炎上撲滅!魔法少女アイ子』(CBCテレビ)キャラクターデザイン、Webサイト『Honda EVeryday EV』(Honda)イラスト担当など。昭和歌謡が好き。



・山本由伸選手

アーティストコメント:

マンホールという特徴からできる限りシンプルなデザインにしました。山本投手はニュースでよく拝見していましたが、実際に描くとなるとなかなか難しく何度も調整しました。

アーティスト: JUN OSON

鎌倉在住のアーティストでイラストレーター。2005年よりイラストレーターとしての活動を開始。幼少期から親しんできたマンガやアニメの影響を土台に、欧米の要素を融合させた無国籍な作風を特徴とする。広告、アニメーション、書籍の装丁、グッズデザインなど幅広い分野で作品を手がける一方、個展も精力的に開催。2020年以降はアジア、ヨーロッパ、アメリカ、中東など世界各地で展示を行い、アートとイラストレーションの境界を越えて活動の幅を広げている。



・鈴木誠也選手

アーティストコメント:

煽りの構図と目線で長打と未来を表現しました。バックボーンを背に未来へブンツとかがとばす!!

アーティスト: YU SUDA

YU SUDA / 1985年生 東京都出身 イラストレーターデザイン会社に勤務後、2012年よりイラストレーターとして活動を開始。国内やアメリカ、フランス、韓国などで展示を行い、アーティスト活動の幅を広げる一方でグローバルスポーツブランドや企業、アパレルブランド、装画など多方面とのコラボレーションも行っている。



・今永昇太選手

アーティストコメント:

「投げる哲学者」という一見スポーツと相反するようなコンセプトを、どうビジュアルに落とし込むか、そのギャップを楽しみながら、試行錯誤を重ねました。投げる一瞬に宿る思考の深さを、ミニマルかつ象徴的な表現にこだわり、また、北九州ならではの織物も入れ込みました。

アーティスト: 粉川理沙

三重県生まれ、カリフォルニア西海岸・小田急線育ち。アートセンターカレッジオブデザイン、イラストレーション科卒業。現在ロサンゼルスを拠点にイラスト・デザイン、主にエンタメ業界の通訳・翻訳、日米文化コンサル等など幅広く活動中。



・千賀晃大選手

アーティストコメント:

故郷に設置されるマンホール蓋で、千賀晃大選手の活躍を表現できて光栄です!

アーティスト: Keiji Ishida

アートセンター・カレッジ・オブ・デザインでイラストレーション・デザインの学位を優秀な成績で取得。芸術的な情熱は、スケートボードやストリートウェア文化に由来し、テキストや繰り返されるキャラクター、モチーフを用いて、さまざまなメディアを通して表現している。制作はデザイン重視でありながら、手作業ならではの不完全さや努力の跡をあえて見せることが特徴。



・菊池雄星選手

アーティストコメント:

岩手県の植物であるナンブアカマツとキリを紋章のように整えた構図に、いきいきと燃える炎を添え、菊池雄星選手の内に静かに燃える闘志を表しました。

アーティスト: 森優

岩手県出身。漫画制作から始まり、エディトリアルや広告の分野でもイラストレーションを手掛けている。日常の中にふと現れる幻想や、余韻のある瞬間を掬い取るような、浮遊感のある表現を得意とする。漫画と共通する“時間の奥行き”を意識した絵作りを軸に、物語のあるビジュアルを目指している。



Official Licensee of MLB PLAYERS, INC.



・松井裕樹選手

アーティストコメント:

松井選手が野球に注いだ時間や切磋琢磨したライバルの存在を、ダイナミックな構図と鮮やかな色使いで表現しました。

アーティスト: 及川真雪

神奈川県出身、横浜市在住。多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。2021年玄光社ザ・チョイス年度賞入賞。鮮やかな色彩とシュールなタッチの人物・群像画を得意とする。書籍・雑誌の装画を中心に、web、ミュージックジャケット等幅広い媒体でイラストレーションを手掛けると共に、日本・アジア・ヨーロッパで精力的に展示活動を行う。近年の主な仕事に 2020 年無印良品夏キャンペーンビジュアル、2021 年横浜モアーズ春夏ビジュアル、2024 年長井短著「ほどける骨折り球子」表紙(河出書房新社)などがある。



・ダルビッシュ有選手

アーティストコメント:

ダルビッシュ選手が持つ 11 種の球種を、千手観音のようにレイアウトしました。パドレスのチームカラーを意識して BAKI 柄を構成し、羽曳野市に点在する古墳のシルエットも取り入れました。

アーティスト: BAKIBAKI

1978 年大阪生まれ。2001 年、京都市立芸術大学在学時に“DOPPEL”として活動開始。日本のサブカルチャーに着想を得て、古来の紋様を現代に更新した“BAKI 柄”は、21 世紀を代表する和柄を志している。クラブやフェスなど音楽の現場におけるライブペインティングをルーツとしながら、現在は建物の外壁画／パブリックアートに注力し、国内外で活動を展開。



・吉田正尚選手

アーティストコメント:

吉田選手は中学野球の頃から場外ホームラン連発で、学校が対策としてグラウンドに「吉田ネット」を建てるほどでした。今でも伸び続ける吉田選手の力強いスイング姿を、レッドソックスの本拠地・フェンウェイパークの特大フェンス「グリーンモンスター」を越えていく打球と共に表現しました。

アーティスト: 池田真友

池田真友 1996 年神奈川県生まれ。京都芸術大学卒業。シュールかつ色彩豊かなビジュアル表現を軸にイラストレーション・アニメーションを用いた広告・映像・書籍等のビジュアル制作を行う。



Official Licensee of MLB PLAYERS, INC.



・ラーズ・ヌートバー選手

アーティストコメント:

明るいイメージのヌートバー選手をコミカルな表情で描くことを意識しました。また日本の伝統的な表現と、アメコミチックな表現を1枚の中で融合しました。

アーティスト: 原田ちあき

誰の心の中にもある、鬱屈とした気持ちをカラフルに描く。ホラー調、レトロ、おめでたいイラストを得意としている。キャッチコピーは「よいこの為の悪口メーカー」2019年より京都造形芸術大学の講師を務める。国内外問わず展示やイベントを行い、イラストの枠に収まらずコラボカフェ、アパレルデザイン、映画出演、コラムの執筆、コピーライター、バンドへのゲストボーカルなど活動は多岐にわたる。誰かに喜んでもらえるなら何でもやりたい。



・佐々木朗希選手

アーティストコメント:

この度は記念すべき機会にイラストを描かせていただき大変光栄です。ARアニメーションも楽しく仕上がりしておりますので、マンホールとあわせて観ていただけたら嬉しいです。佐々木朗希選手のこれからのご活躍を心より応援申し上げます。

アーティスト: トミイマサコ

埼玉県出身・東京都在住。主に書籍の装画や挿絵を中心に、イラストレーターとして活動している。プライベートイラストでは日常の中に不思議なエッセンスをちょっぴり混ぜた世界を好んで描いている。『それいけ! 平安部』(宮島未奈 作/小学館)、「夫は泥棒、妻は刑事」シリーズ(赤川次郎 作/徳間書店)など担当。2023年に2冊の画集『虹間色』(森雨漫)、『トミドロン』(パイインターナショナル)を出版。



・菅野智之選手

アーティストコメント:

菅野選手とお父さまと一緒に歩んだストーリーを表現するために様々なシーンを描きながら、そのどれもが明快に見える様に色と形を吟味して制作させていただきました。

アーティスト: 宮岡瑞樹

愛媛県出身、神奈川県在住。デザイン事務所勤務を経て、2022年からイラストレーター・グラフィックデザイナーとして書籍や広告を中心に活動。